



はだしで学ぼう!

2013
2月

校庭芝生

表紙
の
学校

瑞穂町立
瑞穂第五小学校

- ①179名
(平成24年5月現在)
- ②9,400㎡(12,090㎡)
- ③平成24年10月

誕生！都内最大の芝生の校庭

平成24年10月20日、芝生化面積9,400㎡を誇る瑞穂第五小学校の芝開き式典が開催されました。

当日は瑞穂中学校吹奏楽部による華やかな演奏がオープニングを飾り、FC東京のコーチを招いたサッカー教室や瑞穂第五小学校5・6年生による行進のパフォーマンス（集団行動）が行われ、大人も子供も、歓声を上げて楽しみました。

広々した芝生の上で、今後の活動に期待が膨らみます。

東京都教育の日大特集



東京都教育委員会では、都における教育の充実と発展を図るため、毎年11月の第一土曜日を「東京都教育の日」としています。

今年度のテーマは、「校庭芝生化の推進！」

10月から11月までの「東京都教育の日」推進期間中に実施された行事や催しを紹介します。

INDEX

平成24年度東京都教育の日記念行事

とび出せ!緑の校庭へ

「校庭芝生の親方・匠」認証式

「東京都教育の日」関連事業
東京都教育実践発表会

「東京都教育の日」推進事業視察を実施しました。

芝生イベントレポート
第2回芝生車座集会 in 杉並区立和泉小学校

芝生を体感! 出前芝
北区立神谷小学校

各コーナーにあるフリップは次のような情報を載せています。

- ①児童数
- ②芝生化した面積(校庭全体の面積)
- ③芝生が完成した時期



「校庭芝生の親方・匠」認証式を開催しました!



東京都教育委員会は、都内の芝生化校で、校庭芝生の維持管理に中心になって取り組み続け、大きな貢献をしてきた方を「校庭芝生の親方」及び「校庭芝生の匠」として、認証しました。



「校庭芝生の親方」は、各芝生化校で、地域と連携した維持管理体制の構築や、組織の取りまとめにおいて中心的な役割を担っている方々、「校庭芝生の匠」は、各芝生化校で芝生の維持管理に関する技術的な指導者として継続して活躍されている方々です。

今回、校長先生や副校長先生をはじめ、維持管理団体のリーダーの方等を中心に、「親方」16名、「匠」11名、計27名の方々が東京都教育委員会より認証されました。

「校庭芝生の親方・匠」認証式について

平成24年11月3日(土)に東京都教育の日 記念行事「とび出せ!緑の校庭へ」のイベントの一環として、新宿区立四谷第六小学校の体育館において、「校庭芝生の親方・匠」認証式を開催しました。

東京都教育長から、「親方」、「匠」一人一人に認証書が手渡され、それぞれを代表して、スピーチがありました。

親方



多摩市立多摩第一小学校
棚橋 乾 校長先生 (前南鶴牧小学校校長)

多摩市立南鶴牧小学校
第4回エコスポ祭り

前任校からの取組を評価して頂いたことに感謝します。子供達にとって芝生は学校生活を送る上で素晴らしい環境です。

一校でも多くの学校で校庭の芝生化が進むよう、関わっていききたいと思います。



匠



新宿区立四谷第六小学校 六小会
小川 正治 さん

新宿区立四谷第六小学校
平成24年度東京都教育の日

匠の認証をいただき、ありがとうございます。四谷第六小学校の先生方や地域の皆様のおかげです。今後も芝生の維持管理の力になりたいと思います。



「校庭芝生の親方」「校庭芝生の匠」となった皆様が、校庭芝生化における頼もしい先達として、今後益々御活躍されることを期待しています。



親方

校庭芝生の親方

高橋 英明 新宿区立四谷第六小学校 校長
鈴木 健一 墨田区立柳島小学校 「芝生ボランティア」委員長
林 衛 墨田区立曳舟小学校 「曳小芝刈り隊」隊長
阿部 光城 江東区立八名川小学校 「八名川ファミリー」副会長
田村 浩一 大田区立新宿小学校 校長

猪股 裕 世田谷区立旭小学校 「旭の庭わくわく隊」リーダー
鈴木 友美 杉並区立東田小学校 校長 (前 八成小学校校長)
佐野 篤 杉並区立和泉小学校 副校長
加藤 謙二 荒川区立第二瑞光小学校 副校長 (前 尾久西小学校副校長)
名川 一史 練馬区立中村小学校 「中村小学校グリーンキーパーズ」元代表
櫻井 要一郎 足立区立梅島第一小学校 「グリーンプロジェクト」委員長

櫻井 忠義 足立区立中島根小学校 「中島根小学校開かれた学校づくり協議会」会長
中村 孝 葛飾区立南綾瀬小学校 校長 (前 東金町小学校校長)
滝谷 晃彦 葛飾区立金町小学校 副校長
川越 洋子 狛江市立狛江第五小学校 「狛江第五小学校グリーンプロジェクト」顧問
棚橋 乾 多摩市立多摩第一小学校 校長 (前 南鶴牧小学校校長)

匠

校庭芝生の匠

小川 正治 新宿区立四谷第六小学校 「六小会」リーダー
石塚 則雄 墨田区立柳島小学校 元PTA会長
畠山 保彦 杉並区立和泉小学校 教員 (前任校) (現 高井戸第二小学校教員)

奈良 一樹 杉並区立桃井第五小学校 「桃五小芝生を守る会」管理運営部長
若井 秀夫 荒川区立瑞光小学校 副校長
櫻木 道郎 練馬区立中村小学校 「中村小学校グリーンキーパーズ」前代表
米重 哲彦 足立区立中島根小学校 「緑を育む会」会長

中島 貞男 足立区立梅島第一小学校 「グリーンプロジェクト」委員
宇賀 育男 狛江市立狛江第五小学校 「狛江第五小学校グリーンプロジェクト」代表
吉瀬 正夫 多摩市立南鶴牧小学校 「南鶴牧小学校グリーンネットワーク委員会」委員長
新妻 秀記 利島村立利島小中学校 教員 (前 御蔵島村立御蔵島小中学校教員)

平成24年度東京都教育の日記念行事

平成24年11月3日、新宿区立四谷第六小学校にて、芝生をテーマにした様々な記念行事が開催されました。当日は、家族連れや都内の学校関係者等、約850名が行事を楽しみました。



オープニングを飾るのは、全国でもトップレベルの実力を誇る都立片倉高等学校吹奏楽部のパオーマンズ！

芝生の上で緑日。シャボン玉体験や、わたあめ等の模擬店で一日中、大賑わい！



芝生でスポーツ教室

元U-20日本代表、横浜F・マリノスやスペイン2部リーグで活躍された安永聡太郎氏を招いて、トークショーとスポーツ教室が行われました。



安永選手といっしょに試合！



いろいろなゲームを楽しみました。

安永氏からのメッセージ

自分が小学生のころは、土の校庭が当たり前。芝生の上でサッカーをしたかったができなかった。

こんなふうに住ったり寝そべったりできるのも、校庭が芝生だからこそ。日々の維持管理は大変かもしれないが、是非継続して、芝生の校庭が全国に広まってほしいと思う。

みんなも、大好きなものがあったら、是非続けてほしい。そして、周りの人から応援をもらったら、感謝する気持ちも忘れないでほしい。



基調対談 「芝生のチカラ」

Jリーグチェアマン時代から校庭の芝生化を推進してきた東京都教育委員会委員(当時)川淵三郎氏と四谷第六小学校卒業生で作家・エッセイストとして幅広く活躍する阿川佐和子氏による対談が行われました。



川淵三郎氏

芝生化には賛否両論あるかもしれないが、芝生の上で子供たちが目を輝かせて遊ぶ様子を見て欲しい。このような場所を作り、守っていくのは大人の務めではないかと思う。

そして、校庭の芝生を中心に老若男女が集まり、好きなスポーツを地域社会の中で楽しむことができる社会になってほしい。地域コミュニティの核として、芝生の力に期待している。

四谷第六小学校のエピソード

芝生化から1年目の年に、大量発生したヨシキリが一夜のうちに食べ尽くされてしまいました。しかし、私は絶対負けませんよ。校長先生を中心に、見事に芝生を回復させました。四谷第六小学校の芝生の校庭は、地域にとって

教育委員視察

東京都教育委員会委員による

「東京都教育の日」推進事業視察を実施しました。

「東京都教育の日」推進期間中、東京都教育委員会委員が、「校庭芝生化の推進」に関わる区市町村の取組として、都内の芝生化校4校を訪問しました。それぞれの学校で、校長先生や、保護者、地域の方々と、芝生が子供たちにもたらす教育的効果や学校と地域の繋がり等について意見交換を行いました。

10月16日

あま ぬま

杉並区立天沼小学校 木村委員長

杉並区立天沼小学校では、芝生を活用した縦割り班活動が盛んです。縦割り班の活動日には、1年生から6年生までの6人の班毎に、校庭や屋上の芝生のスペースで昼食をとり、その後の休憩時間も芝生の上で、鬼ごっこやハンカチ落とし等の集団遊びを通して交流を深めます。

木村委員長が視察に訪れた日も、1年生



屋上の芝生も視察。エコスクールの取組を見学しました。



児童全員が裸足で走り回っていました。

から6年生まで児童全員が裸足になって芝生の校庭を元気に走り回っていました。

同校は杉並区版エコスクールとして、太陽光パネルや風力発電設備の設置等、様々な工夫がなされています。屋上の芝生も、夏場の教室内の気温上昇を緩和し、省エネに貢献しているそうです。

- ①429名 (平成24年5月現在)
- ②715㎡(2,500㎡)
- ③平成22年10月



とび出せ!緑の校庭へ



特別講演



「校庭の芝生化が子供の"こころ"や"からだ"に与える感情心理学・環境心理学・精神生理学分野における豊富な知見を校庭芝生化が子供たちに与える長期的な教育効果について講演して

同志社大学心理学部教授
鈴木 直人氏



「本当の教育とは、子供の長期的な成長を見据えて、人間力を鍛えていくこと」

Close Up! 芝生化による



外遊びの増加

思考力や判断力、生きるための意欲等を司る前頭葉への刺激が増加する。



他者との交流

集団遊びや芝生を交流の中で自分の人間力が鍛えられ



阿川 佐和子氏

以前仕事をしていた、アメリカのスミソニアン博物館では、5,500人も市民ボランティアが中心になって様々な展示会や博物館の運営を支え、「自分達の大切な博物館」という意識を持っていることで、成功している。四谷第六小学校の芝生も、校長先生をはじめとする先生方や地域のシニアの方々が、自分たちの手で作り上げたものだからこそ、子供たちが夢中になって駆け回る四谷第六小学校の芝生を何が何でも守るという意識が根付いているのだと思う。

トウモロコシ〜川淵氏のお話より〜

トウモロコシ(芝生を食べる害虫)によって、校庭の芝生も、「芝生がおいしいなら、いくらでも食べて必ず芝生をちゃんと元通りにしますよ。」と言う声も聞かれました。多くの人の手で守り、育てられてきた四谷第六小学校の芝生は、かけがえのない存在です。

“芝生のある風景” 写真・絵画優秀作品表彰式

東京都教育委員会では、教育の日のテーマに合わせ、「芝生のある風景」を題材にした写真と絵画を募集しました。厳正な選考の結果、最優秀賞・優秀賞に選ばれた22名が受賞しました。

作品の発表とともに表彰。おめでとうございます!



受賞者のみなさん

今回表彰された優秀作品は、東京都教育庁ホームページの「東京都教育の日」より御覧いただけます。
<http://www.kyoiku.metro.tokyo.jp/buka/shogai/kyoikuday/mark2.htm>

11月12日
大田区立新宿小学校 内館委員 比留間教育長
大田区立新宿小学校では、芝生の校庭を活用し、児童一人一人の体力向上に力を入れています。

当日、内館委員と比留間教育長は、全校児童による「じゃんけんすごろく」やボールやフラフープを使った自由遊び等の休み時間の活動や、体育の授業を視察しました。新宿小学校の「じゃんけんすごろく」は、じゃんけんをして勝った人が様々な歩き方で進む運動で、楽しみながら短時間で基礎体力を高めることができるため、30分の中休みを活用して、全校児童で実施しています。

裸足で駆け回る児童と一緒に内館委員も裸足になり、芝生の感触を体感する一幕もありました。

- ①379名 (平成24年5月現在)
- ②2,170㎡ (6.265㎡)
- ③平成20年10月

「校庭芝生の親方」が活躍している学校です。
親方 田村 浩一 校長先生



内館委員も裸足で芝生を体験

11月15日
多摩市立南鶴牧小学校 川淵委員(当時)
多摩市立南鶴牧小学校では、南鶴牧小グリーンネットワーク委員会を中心とした地域のボランティアの方々の心強い協力を得ながら、5,000㎡を越える広々とした芝生の校庭を維持管理し、様々な教育活動に生かしています。



川淵委員が抱いているのは南鶴牧小のキャラ「しばちゅん」

- ①4 (平)
- ②5
- ③



東京都教育の日
関連事業

東京都教職員研修センター主催
平成24年10月1日

東京都教育実践発表会



「東京都教育実践発表会」は、「東京都教育の日」の関連事業として毎年開催されています。この発表会は、東京都内の公立学校における優れた教育実践や特色ある教育活動を都内公立学校に普及・啓発するとともに、広く都民に紹介することにより、東京都の教育の充実に資することを目的としています。

今年度は、「校庭芝生化の推進」をテーマに、6校の芝生化校による実践発表「芝生を活用した特色ある教育実践」及び「校庭芝生維持管理の実践」と、同志社大学心理学部嘱託講師 福田美紀先生

による特別講演「とび出せ!緑の校庭へ」が行われ、教職員や保護者・一般都民、大学生の方々が熱心に聴講しました。

芝生化校による実践発表では、芝生を活用した授業の事例や芝生の校庭を使う上での工夫、地域を巻き込んだ維持管理体制や地域全体での活用等、各校における効果的な取組が紹介されました。

福田先生による特別講演では、芝生化校での豊富な調査実績を踏まえて、芝生の校庭が子供の心身に与える影響や芝生と長く付き合っていくための工夫等について発表して頂きました。

る効果」

踏まえ、
いただきました。

ら効果



流の増加

通じた他者との
立ち回りを学び、
る。

コミュニティの醸成

地域の高齢者に維持管理に関わっ
てもらえば、子供たちへの文化の
継承の場としても期待ができる。



受賞作品は「東京都教育の日」の
リーフレットで紹介されました。

Close Up! 芝生化による子供たちへの影響

	福田先生の講演から	芝生化校の実践発表から
運 動	<ul style="list-style-type: none"> 子供たちの日常的なカロリー消費や歩数が増加 日々の運動量が増し、歩数や消費カロリー量が増加 	<ul style="list-style-type: none"> 体力テストの点数が上昇 けがの減少
遊 び	<ul style="list-style-type: none"> 外遊びの促進 男女混合での集団遊びの増加 	<ul style="list-style-type: none"> 屋内で過ごす傾向の強かった高学年女子も外遊びの機会が増加
心身の健康	<ul style="list-style-type: none"> 睡眠の質の改善 ストレス反応の減少 	<ul style="list-style-type: none"> 欠席者の減少

参考：事例発表参加校

芝生を活用した特色ある教育実践

中野区立啓明小学校、昭島市立武蔵野小学校、都立町田総合高等学校

校庭芝生維持管理の実践

八王子市立第四小学校、板橋区立高島第六小学校、葛飾区立東金町小学校

当日、川淵委員は、休み時間にサッカーやバランスボール等で伸び伸びと遊ぶ児童の様子や1年生の体育の授業を視察しました。

川淵委員の「芝生の校庭で走って、足が速くなった人は?」という質問に、子供たちはみんな大きく手を上げて、元気に答えています。



川淵委員の質問に元気に答えます。

90名
平成24年5月現在)
,120㎡(9,659㎡)
平成20年10月

「校庭芝生の匠」が活躍している学校です。
匠 グリーンネットワーク委員会
委員長 吉瀬 正夫さん

11月20日

調布市立第二小学校 （芝花委員）

調布市立第二小学校は、平成24年度に校庭を全面芝生化し、芝生の校庭を生かして、子供たちの体力向上に力を入れています。

竹花委員は、JリーグのFC東京の選手を招いたサッカーの授業の様子を



サッカー教室を視察



視察し、芝生の上で思い切りボールを追いかける子供たちに声援を送りました。

同校では、ウィンターオーバーシードをする際に、校庭を半分に分けて、時期をずらして実施することで、種まき後の養生期間中の活動場所を確保しています。

①336名
(平成24年5月現在)
②3,000㎡(6,494㎡)
③平成24年4月

FC東京の選手のサッカー教室。芝生の上での貴重な体験です。

芝生イベントレポート

2012年8月4日

「第2回芝生車座集会」 in 杉並区立和泉小学校

①362名
(平成24年5月現在)
②2,575㎡(5,471㎡)
③平成14年3月

杉並区立和泉小学校は、平成13年度に校庭全面の芝生化を行った学校です。保護者や地域の方々を中心に結成された和泉グリーンプロジェクト(和泉GP)は、メンバーそれぞれの得意分野を生かし、日々の維持管理や芝生の校庭を使ったイベントの開催や本の出版まで手がけています。

長続きの秘訣は、子供のために大人も楽しむこと

子供たちのための活動ですが、実際大人も大いに楽しんでいます。毎年夏休みを開催する野外コンサート「和泉グリーンコンサート」等、それぞれの得意分野を持ち出して、家族だけではできないことを芝生の校庭が可能にしてくれます。

「和泉GPに卒業はありません」と相馬季子校長先生。子供が卒業しても、多くの保護者が自由に活動に参加する、ゆるやかな結び付きが根付いています。

維持管理を楽しむ

4月から9月は、毎週土曜日の10時から、芝刈り等の維持管理作業を行います。作業人数の確保が難しかった夏休み期間中は、維持管理作業を親子で楽しむレクリエーション「サマードリームデイ」として実施することで、毎年無理なく活動を続けています。取材当日も、児童と保護者が一緒になって芝刈りをした後、芝生への散水用のスプリンクラーを使った水遊びとアイスキャンデーの差し入れがあり、子供たちの歓声と大人の皆さんの笑顔が広がりました。

和泉小学校は、平成27年4月からは、新泉小学校・和泉中学校と統合し、小中一貫教育校として新たなスタートを切ります。現在校庭のある場所には、新しい校舎が建つこととなりますが、新設の小中一貫教育校でも、校庭の芝生化に向けて着々と計画が進んでいます。そして、「思い出の詰まった和泉小の芝生を、統合後も何らかの形で残していきたい」と、構想中です。新たに生まれる小中一貫教育校の芝生の校庭が、どのように子供たちを育み、地域を育てていくのか、期待が膨らみます。



和泉小の芝生をテーマにした書籍



みんなでいっしょに芝刈り



お楽しみのスプリンクラーきもちいい!

「校庭芝生の匠」が活躍している学校です。
親方 佐野 篤 副校長先生
匠 畠山 保彦 さん
現 高井戸第二小学校教員

芝生を体感! 出前芝

学校に「緑のじゅうたん」を設置してみませんか?

東京都は、都内の公立小中学校へお試し用の芝生をお届けする「出前芝」を実施しています。

今年度は、10月末時点で24校の公立小中学校に出前を行い、児童・生徒や先生方、保護者の皆様大変御好評をいただいています。

芝生の生育が活発になる春先から出前を再開する予定です。

児童・生徒に「緑のじゅうたん」をプレゼントしませんか?

東京都の芝生出前事業

- ★電話にてお申込を受け付けています。
(対象：都内の公立小中学校)
- ★校庭の土の部分に、100㎡~150㎡の芝生を設置します。
- ★設置した芝生は、一定期間設置した後に撤去することも可能です。
- ★芝生と合わせて、散水用のスプリンクラーと芝刈機もお届けします。

申込・お問い合わせ

東京都教育庁地域教育支援部義務教育課
校庭芝生化推進担当
TEL 03-5388-3567



Interview 出前芝活用校の声

北区立神谷小学校

今野 正夫 校長先生

なんとと言っても子供たちが喜ぶし、休み時間の活動も活発になります。また、保護者からも、「芝生の緑がきれい」、「クッション効果があるので、けがが減って安心」と、評判です。

場所が確保できるのであれば、是非多くの学校で試して頂きたいと思います。



中休みには、低学年の児童ほぼ全員が、芝生のスペースで元気に遊びます。

①302名
(平成24年5月現在)
②151㎡(4,500㎡)
③平成24年6月